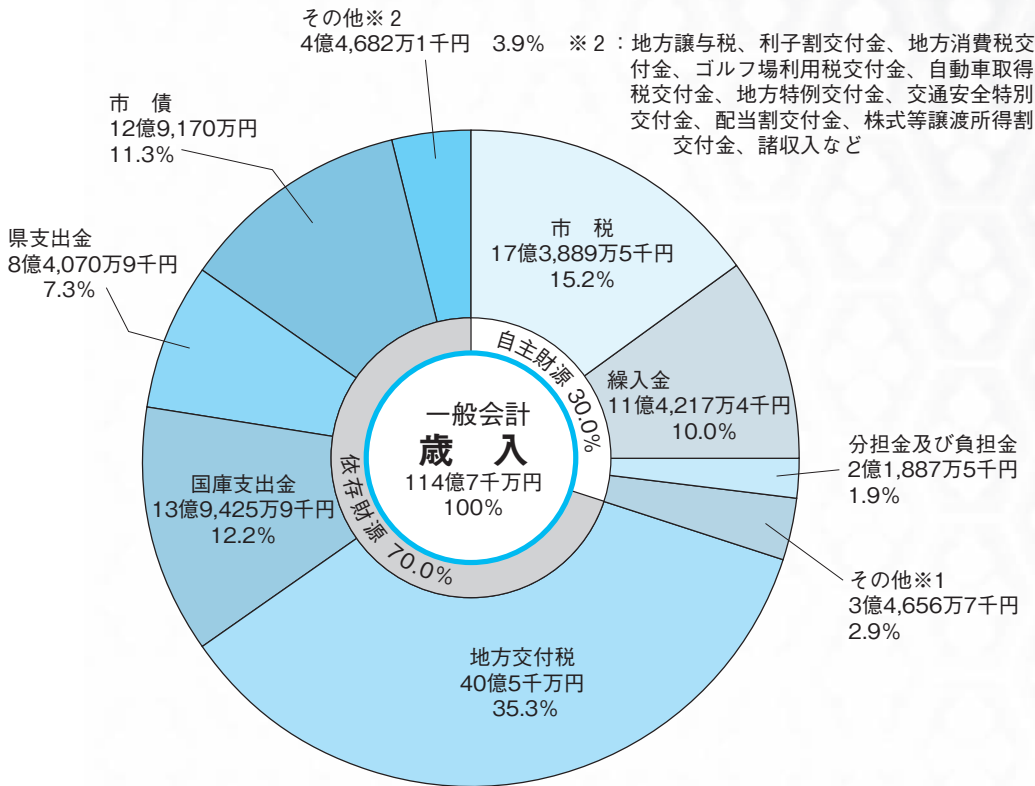


# 平成26年度 多久市当初予算

## 一般会計

# 114億7千万円



※1：使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入など  
 ※2：地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全特別交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、諸収入など

3月議会では平成26年度の当初予算が可決され、一般会計の予算総額は114億7千万円で、前年度当初予算に比べ、6億9千万円（6.4%）の増額となりました。  
 厳しい財政状況ですが、「堅実な財政運営」を基本とし、みなさんが安心して暮らせる環境づくりに努めます。

### 市税の内訳

(単位：千円)

税目名	予算額	前年対比 (%)
市民税	685,536	-3.5
個人分	585,670	-0.4
法人分	99,866	-18.2
固定資産税	845,258	-2.2
土地	296,527	-0.7
家屋	393,214	-3.6
償却資産	135,916	-1.1
交付金	4,943	-0.1
その他	14,658	-1.3
軽自動車税	57,642	0.7
市たばこ税	150,458	4.3
入湯税	1	0
合計	1,738,895	-2.1

### 歳入

市が独自に収入する自主財源の割合は、30.0%で、前年度に比べ3.2ポイントの増となっています。

市税は、17億3千9百万円と前年度に比べ3千7百万円（2.1%）の減額を見込んでいます。

依存財源で高い割合を占める地方交付税は、40億5千万円（1.3%増）、国庫支出金は、13億9千4百万円（3.4%増）、県支出金は8億4千1百万円（11.0%減）を見込んでいます。

基金からの繰入金については、11億4千2百万円（23.9%増）、市債も12億9千2百万円（71.8%増）となります。

### 用語解説

**自主財源**…市が自主的に収入することができる財源。市税をはじめ、分担金及び負担金など

**依存財源**…国や県から交付される財源や市債（借入金）

**市税**…市民のみなさんが納める税金

**繰入金**…これまで積み立てた基金などから繰り入れる財源

**分担金及び負担金**…市が行う事業で、事業の受益者に費用の一部を負担してもらうもの

**地方交付税**…全国すべての市町村が等しく行政サービスを提供できるように国から交付されるもの

**国庫支出金**…特定事業に対する国からの補助金

**県支出金**…特定事業に対する県からの補助金

**市債**…事業推進などのため市が借り入れる財源

**義務的経費**…市の一般歳出のうち、支出することが制度的に義務づけられている経費のこと

で、人件費、扶助費および公債費の3つからなる経費。

人件費は職員の給料や議員の報酬など、扶助費は生活保護法や児童福祉法などに基づき公的扶助制度の一環として対象者に支給する費用、公債費は市の借入金を返済するために必要な経費

**投資的経費**…その経費の支出の効果は単年度また短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられる経費で、予算科目では、普通建設事業（補助事業と単独